

地域の誇りワークショップ（三重大学）
～誇りと愛着を持てる地域づくり～
開催結果概要

日時	平成 18 年 11 月 30 日 15:00～16:00
会場	中部地方整備局主催学生向け現場見学会内（車中）
ファシリテータ	杉本宗之（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング研究員）
発言者	三重大学現場見学会参加学生（20 名）
オブザーバー	岩丸圭一（国土交通省中部地方整備局企画部企画課事業評価係）



議論のポイント

どのようなことに地域の誇りを抱いているか

- ・ 綺麗な風景や珍しい生き物などの自然環境や歴史的建造物が豊富
- ・ 独特の食文化や特徴のある特産品
- ・ 都会でも田舎でもなく、気候が良く住みやすい
- ・ 経済が活発なところ



今後、地域に対する誇りを育むために

- ・ 環境保全に関する活動
- ・ 地域の行事やイベントへの積極的な参加
- ・ 清掃活動などのボランティア活動などによる、きれいな街づくり
- ・ 近隣住民との積極的なコミュニケーション、地域コミュニティの活性化
- ・ 幼い頃からの地域活動と、地域に対する思い入れを育む
- ・ 統一感、一体感のある街づくりによる、地域を守る気持ちの醸成

地域づくりに求められる社会資本整備の視点

- ・ 景観が良く、機能的で、環境に配慮した街づくり
- ・ 豊富な自然環境の保全
- ・ キーワード、キャッチフレーズに基づく街づくり
- ・ 既存の観光施設のさらなる充実と情報発信
- ・ 近隣地域との移動を円滑にする交通基盤の整備

ワークショップで得られた意見

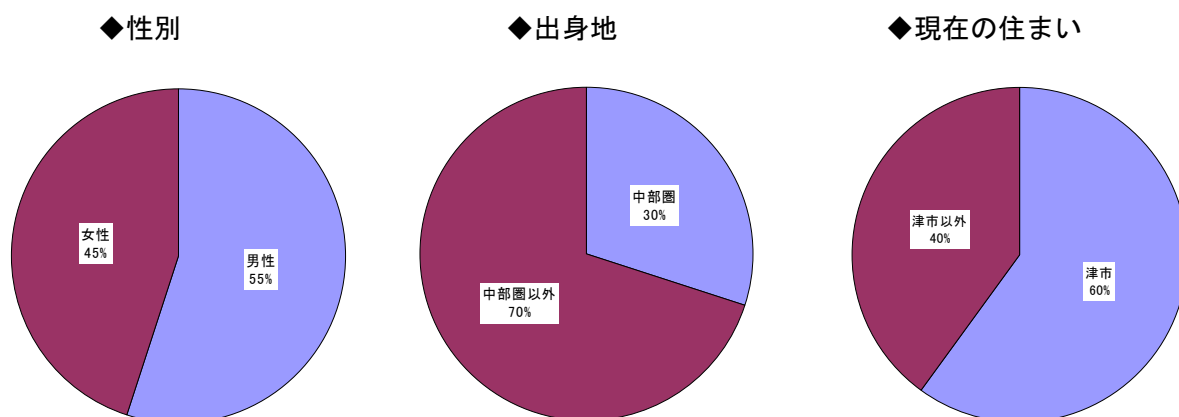
Q 1. あなたは、現在お住まいの地域に魅力を感じ、他地域の方に自慢したいことはありますか？	
○ : 11 人	・ 自然が豊富なところが魅力的。 ・ 伊勢神宮（などの歴史的な名所）があるところが自慢できる。
× : 8 人	・ 特に魅力的なものが思い当たらない。
Q 2. あなたは、現在お住まいの地域にこれからもずっと住みたいと思いますか？	
○ : 6 人	・ 街と自然の中間にあり、バランスが良い。 ・ 名古屋や四日市などの都市に出て行くにはちょうど良い立地で、都会過ぎずのんびりしている。 ・ 生活をする上での不便を感じない。人が多いわけでもなく、適度なところがすみやすい。 ・ まだまだ知らない所を色々探し、自分のお気に入りスポットを探していきたい。
× : 13 人	・ 車がないと行動範囲が限られ、どこへ行くにも遠いと感じる。 ・ 他の色々な場所にも住んでみたいため。 ・ 住む場所は、自分の地元以外考えられないため。
Q 3. あなたは、現在お住まいの地域で働きたい（就職したい）と思いますか？	
○ : 12 人	・ 名古屋に住んでいるが、地元であるし、都会であるため、仕事の選択肢が豊富。 ・ 就職先の場所にこだわりはないが、地元の方が知っている人が多いから。
× : 7 人	・ やりたい事を優先して就職先を決めようと思っているため、この地域で就職先を決めるという考えはない。 ・ 出身地の方が都市の利便性も良く、余暇施設も豊富で、知り合いも多いため、地元で就職したい。 ・ この地域で就職が決まるかどうかによる。
Q 4. あなたは、ボランティア活動などへの参加を通じて地域に貢献したいと思いますか？	
○ : 13 人	・ 地域の手伝いや行事に参加したい。 ・ 子供が出来たら保護者として、子供会などの地域活動に参加していきたい。
× : 7 人	・ 身近な自治会、子供会などは取組やすいが、災害時などのボランティアは規模が大きすぎて、参加の方法がわからない。 ・ 地域の人から声をかけられればやるが、一人暮らしの状況で、そのようなきっかけが無い。 ・ 強制的ではないと、やる機会が無い。
Q 5. この地域に住む人は、地域に対する誇りや愛着を持っていると思いますか？	
○ : 9 人	・ 名古屋に住んでいるが、名古屋が一番と思っている人が多いように思う。 ・ 地元に住み続ける人が多いことは、地元で愛着を感じているという事ではないか。 ・ 津では、就職先が無い、交通の便が悪いという理由でその他地域へ出て行く人はあまりいないので、愛着を感じているのではないか。
× : 10 人	・ 名古屋に住んでいるが、名古屋が好きという声はあまり聞かない。 ・ 地元には就職先や進学先が無く、出ていってしまう人がおおいため。 ・ 気が合う人がいればいいため、住んでいる場所の誇りや愛着は関係が無いと思う。

〈その他〉

Q. どうなれば地元の人が地元を目を向けるようになると思いますか。
・ 参加しやすいレクリエーションやイベントを催し、思い出づくりをすれば結果的に地元が好きになっていくと思う。 ・ 小さい頃から周りに参加できるイベントがあり、思い出があれば、積み重なって地域への愛着が増すと思われる。
Q. 住んでいる地域はボランティアに積極的だと思いますか。(○：3人、×：15人) どうすれば地域の人に参加するようになると思いますか。？
・ 積極的な広報活動をして欲しい。参加する意識のない人にも伝わるような大々的な広報が必要。 ・ 小さな街であれば一体感があるが、大都市では母体が大きすぎるため、人と人との繋がりを強めていく。
Q. 大都市で繋がりをもたせるにはどうしたらようでしょうか。
・ 楽しいイベントを催し、自発的な参加を促す。 ・ 若い人が行事を盛り上げていく事が必要。

事前アンケート集計結果（n=20）

1. 回答者属



2. 主な回答結果

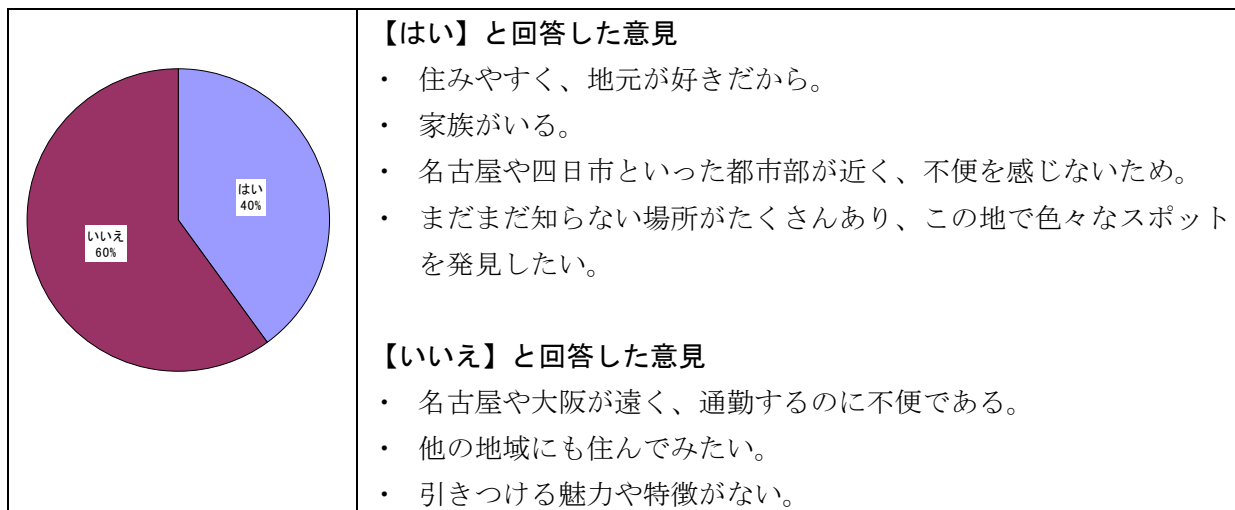
Q 1. あなたは、地域らしさや地域の紹介を他地域の方にするとき、あなたは何を“ウリ”にしますか？具体的にお書きください。（Ex. 有名なところ、特産品、食文化、方言 etc）

- ・ 綺麗な風景や珍しい生き物などの自然環境や、歴史的な建造物がある事。
- ・ 伊勢志摩など観光名所や温泉、また四日市などの工業の街が多く存在する事。
- ・ 海の幸が豊富な所。
- ・ 独特の食文化や各地域で特徴のある特産品がある事。
- ・ 都会すぎず、田舎過ぎず、気候も良く住みやすいところ。
- ・ 経済が活発なところ。

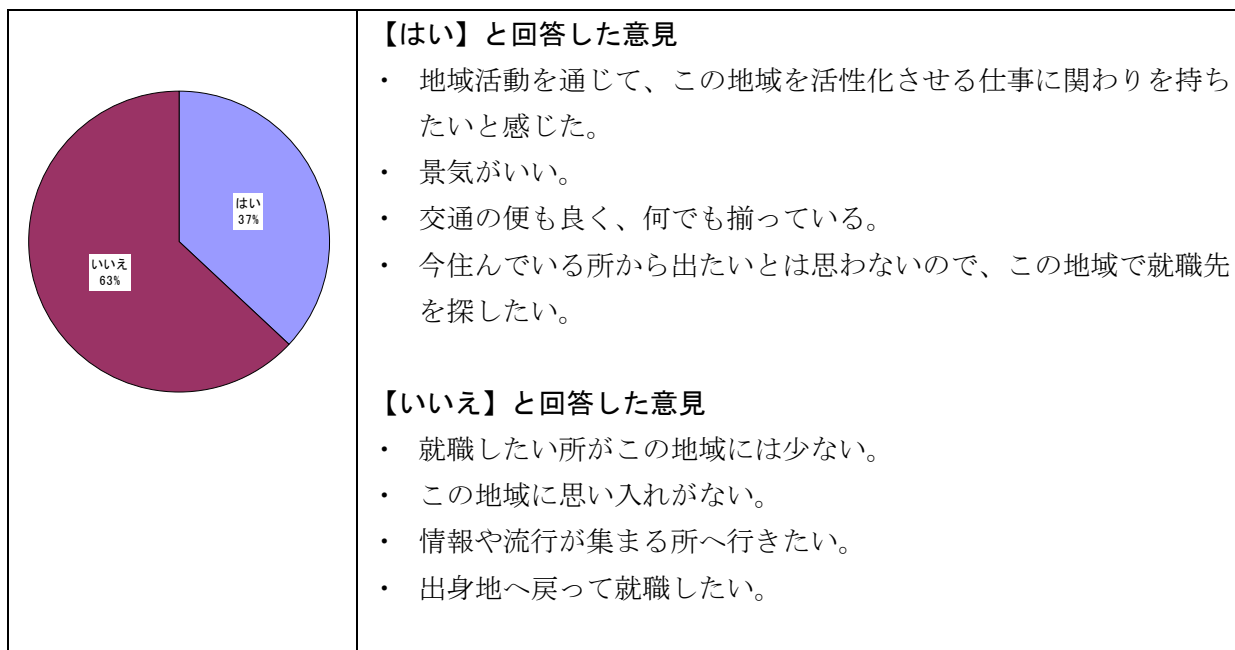
Q 2. Q 1について、何が充実すれば、もっと地域の自慢として他地域の方に紹介できますか？具体的にお書きください。

- ・ 既存の観光名所をさらにアピールしていくとともに、施設の充実を図る。
- ・ 各地で有名なもの、特産品、食文化、または地域活動をつくり情報発信していく。
- ・ 景観が良く、機能的で、環境に配慮したスポットをつくる。
- ・ 各市町村でキーワード、キャッチフレーズを作成し、紹介していく。
- ・ 交通の便を良くし、お店の数を増やしていく。
- ・ 地域住民の、地元に対する意識を持つようにする。
- ・ このままであって欲しい。

Q 3. あなたは、現在お住まいの地域に今後もずっと住み続けたいと思いますか？
また、その理由は何ですか？具体的にお書きください。

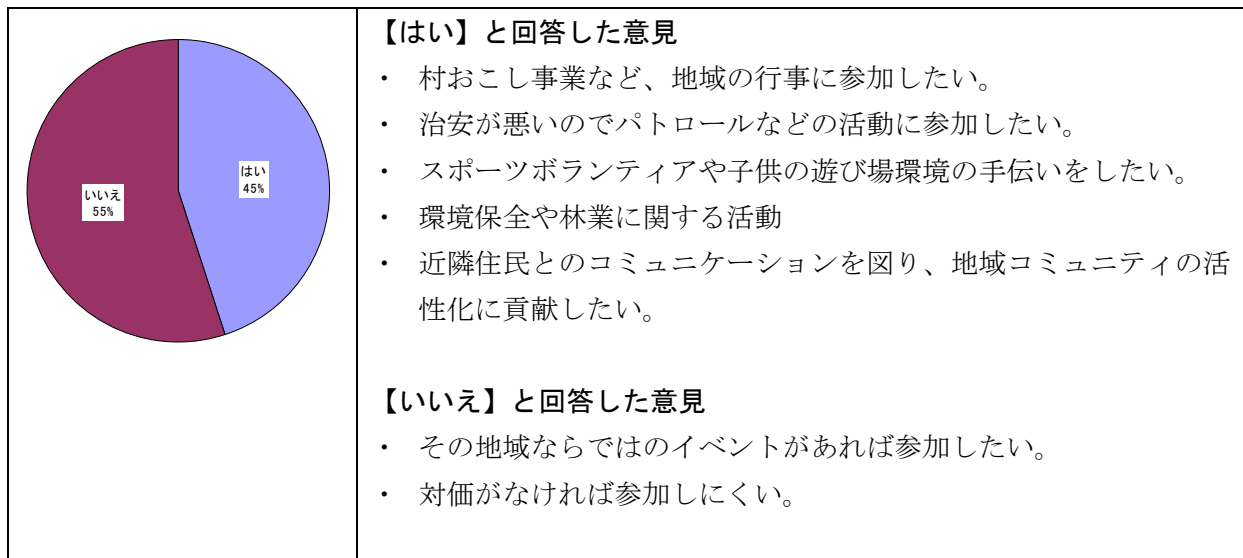


Q 4. あなたは、現在お住まいの地域で働きたい（就職したい）と思いますか？
また、その理由は何ですか？具体的にお書きください。



Q 5. あなたは、ボランティアな活動などへの参加を通じて現在お住まいの地域に貢献したいと思いますか？

また、どのような活動の中で地域に貢献したいと考えますか？具体的にお書きください。



Q 6. 今後、どうすれば地域の人々が今以上に地域に対する誇りや愛着を持てるようになると思いますか？

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 幼い頃から地域に密着した行事を行い、地域の良さを学び、地域に対する思い入れを育む。・ 地域の人々の交流の場を増やし、人と人とのつながりを醸成していく。・ 統一感、一体感のある街作りをし、地域を守る気持ちを持つことで、愛着も生まれる。・ 街の清掃などのボランティア活動を増やし、きれいな街づくりをする。・ 自然を大切にする。・ シーズンに応じた街の装飾をし、活性化を図る。 |
|--|